

指定管理者評価シート

事業名	札幌市都市公園維持管理業務	所管課(電話番号)	手稲区土木部維持管理課(681-4011)
-----	---------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①前田森林公園 ②山口緑地 ③星置公園 ④明日風公園	所在地	①手稲区手稲前田591外 ②手稲区手稲山口582外 ③手稲区星置2条1丁目 ④手稲区明日風2丁目
開設時期	①昭和62年8月1日 ②平成11年3月31日 ③平成1年3月31日 ④平成22年3月31日	面積	①597,258㎡ ②444,280㎡ ③61,800㎡ ④47,569㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	上記公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①カナル、壁泉、展望ラウンジ、野球場、球技場、パークゴルフ場他 ②パークゴルフ場(72ホール)、駐車場(380台、身障者9台)、クラブハウス、管理棟 ③テニスコート、野球場 ④テニスコート、パークゴルフ場、徒渉池		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)スペース・デザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園)		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由		
指定単位	施設数: 4 複数施設を一括指定の場合、その理由: ①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場)運営(利用料金制度)、緑化普及啓発業務		
3 評価単位	施設数: 4 複数施設を一括評価の場合、その理由: 同一の指定管理者で維持管理しているため。		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定		A	B	C	D
	前田森林公園、山口緑地、星置公園、明日風公園においては、以下の基本方針に基づき管理運営に あたった。 【1】さまざまな公園利用者が安心して利用できる 安全な公園づくり ① 対応マニュアルによる接遇レベルの向上とバ リアフリーサービスの向上 ② 公園利用時の事故防止と地域の防災拠点とし ての自然災害への備え	平等・公平な利用に関するスタッフ教 育、関係法令・条例の遵守のため不法行 為、迷惑行為等への巡回注意や注意看 板の設置をしたほか、利用者満足度向上 のためのアンケートを実施して、受けた苦 情や要望には可能な限り迅速に対応する よう努めた。 年2回の消防訓練の実施や普通応急手 当講習のスタッフ研修を行ったほか、非常 事態発生時の指揮命令系統を構築して災 害時発生備品を準備し、緊急時対応に備 えている。	基本方針に基づ き適切に管理さ れている。			

【2】自然豊かな森林環境を生かした環境教育の場の提供と環境保全の両立

① 公園利用と自然環境保全のバランスに配慮した管理手法の構築

パークゴルフ場や野球場等のスポーツ利用での芝刈やサンクガーデン・芝生広場等の景観・快適性優先で頻度の高い草刈と、広葉樹の森・記念樹の森・野鳥の森等の鳥や昆虫、野草等の生態系にも配慮した、園路沿いを中心とした草刈や樹木管理等の生育や利用に対応した順応的管理とのバランスとメリハリのある管理方法に取り組んだ。

② 身近な自然体験の場の提供と価値向上

公園内の自然散策を楽しめるよう、園内の植物や野鳥等の情報のパネル掲示や管理事務所窓口での印刷物配布等、自然知識を深める機会づくりをした。

【3】各公園施設の特性を活かし、魅力を向上させ、「公園の強み」を発揮する取り組み

① 観光資源としての価値向上

カナールとポプラ並木、多種多様な花木類等の特徴的な景観を維持管理して情報発信をし、テレビやCM等のロケ、記念写真撮影地として多くの利用があった。

② 生涯スポーツの場としての利用価値の向上	有料運動施設やパークゴルフ場開放のほか、公園ウォーキングマップやラリーカードを作成・無料配布し、公園利用者の健康づくりや利用促進に寄与した。
③ 冬季公園利用の促進への積極的な取り組み	冬期の公園利用促進を目的としてクロスカントリースキーコースを設置整備し、歩くスキーセットの貸出を行うことにより、冬の健康増進の場として多くの公園利用があった。
【4】地域コミュニティ活動の場としての公園利用の活性化による連携と協働の拡大 ① ボランティア活動参加へのきっかけづくり ② ボランティア団体活動への支援 ③ 地域や周辺教育機関の公園を利用した活動への支援	当公園のボランティア団体の活動を支援し、園内自然素材を利用した工作体験と自然観察会を定期的に開催した。また、清掃ボランティア等の参加者が増加しており、市民活動の場の定着、市民協働の推進を図ることができた。 また、札幌高等養護学校の教育的利用にも積極的に協力している。

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 平等利用に係る方針

信条、性別、社会的身分、年齢等により、合理的な理由なく利用を制限する等の平等利用が妨げられることのないよう、すべての利用者に対して公正中立な対応をするためにスタッフへの教育を徹底する。特に配慮が必要な障がい者に対しては、不当な差別的取扱いをしないよう、真摯な対応で「困りごと」の解消に努める。

▼ 平等利用の取組状況と実績

- ・スタッフ採用時に、平等利用について研修を実施した。
- ・公園内掲示物は、札幌市の「広報に関する色のガイドライン」を参考に「見やすい・読みやすい」案内看板の作成を行った。
- ・迅速かつ広範囲な情報発信のため、公式ホームページとX(旧Twitter)を活用した。
- ・ホームページは、ウェブアクセシビリティ試験によるレベルAA準拠に努め、試験結果をホームページ内に掲載している。
- ・利用者への注意指導として巡回指導と看板掲示（有料施設の不正使用、火気使用行為の禁止、野生動物への餌付け行為、犬の放し飼いや糞の不始末、ゴミの不法投棄、ボール遊びマナー等）を継続して行った。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。

▼ 全スタッフに対してEMS教育を実施した。

▼ 一般ごみと資源化ごみの分別を徹底することでごみの減量化に努めた。

▼ 剪定枝のチップ化など、植物リサイクルを実施した。

4月雇用時受付スタッフに研修を実施して、平等かつ親切な対応を心がけ、アンケートでも市の要求水準を満たす満足度が得られた。

情報発信の際にはユニバーサルデザインを考慮し「見やすい」「わかりやすい」表現を心がけた。

不正利用及び危険行為等への巡回指導や掲示物の設置、受付での丁寧な説明等を行った。

必要な研修を実施し、平等利用の確保が図られている。

電気使用量は、引き続き節電に努めた前年比93.3%となった。
農薬は使用を極力抑制する方針で、本年度も使用はなかった。植物残渣のリサイクルでは処理樹木をチップ化し園内へ還元したほか、バイオマス堆積場に運搬を行った。

様々な取り組みを行い、環境配慮に努めている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。 ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。 ▼ 臨時職員(維持管理12名、受付6名、パークゴルフ場受付16名)の採用を行った。 ▼ 研修計画に基づき、職員研修(EMS研修、接遇・サービス研修、普通応急手当講習、消防訓練等)を行った。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼ 管理技術向上のため、業務に必要な資格取得をはじめ、安全作業手順、草刈・剪定など公園維持管理安全作業に係る実地研修等を実施した。 ▼ 利用者アンケートの結果や受付窓口に寄せられた苦情・要望に対し迅速に対応するよう努めた。 ▼ 毎朝のミーティングで作業内容に応じたKY活動を行い事故防止に努めるとともに、他公園等の事故報告・苦情要望事項を共有した。 ▼ 対象職員に普通応急手当講習を実施した。 ▼ 年2回の消防訓練を実施し、利用者の避難経路や手順を再確認した。 ▼ 利用者サービス向上のため、園内植物(サクラ、フジ等)の開花情報をホームページやX(旧Twitter)に掲載するとともに、開花エリアマップ、園内の野鳥一覧等のパネル掲示による情報提供を行った。	スタッフ研修は計画どおり実施することができた。加えて、管理運営レベルの向上を目指しスタッフの資格取得に努めた。 緑地管理に有効な資格を積極的に取得させることにより作業技術の向上と効率化を図った。 安全管理については、安全衛生教育と毎日のKY活動によりスタッフの安全に対する意識及び技術の向上に努めた。 利用者サービス向上に関しては、ネット媒体を利用した公園情報の提供やマスコミ対応等、積極的な情報提供に努めた。	適切に人員を配置されている。 資格取得や研修により、管理水準の向上に取り組んでいる。
--	---	--

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） 以下の業務について、第三者に委託し、管理・監督を適正に行い業務を遂行した。 ①前田森林公園 ・管理事務所等機械警備業務 ・昇降機点検業務 ・管理事務所等消防設備点検業務 ・展望ラウンジ等自動ドア保守点検業務 ・展望ラウンジ・休憩舎他特別清掃業務 ・前田森林公園他受水槽清掃業務 ・灯油地下タンク漏洩検査業務 ・前田森林公園他遊具保守点検業務 ・前田森林公園除雪業務 ・自家用電気工作物保安管理業務 ・一般事業系廃棄物処理業務 ・カン・ビン等処理業務 ・産業廃棄物処理業務 ・トイレ維持管理業務 ・カラスの巣撤去及び子ガラスの保護業務 ②山口緑地 ・管理棟等機械警備業務 ・管理棟消防用設備点検業務 ・自動ドア保守点検業務（管理棟、クラブハウス） ・遊具保守点検業務 ・産業廃棄物処理業務 ・受水槽清掃等業務 ③星置公園 ・遊具保守点検業務 ・トイレ維持管理業務 ・産業廃棄物処理業務 ④明日風公園 ・遊具保守点検業務 ・産業廃棄物処理業務	第三者への委託業務に関しては、全て札幌市内企業に委託し、適正に業務履行できた。	適切に行われている。
---	--	-------------------

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
3月17日	前田森林公園他3公園・緑地の運営に関する札幌市への報告、協議 1. 管理業務の実施状況 2. 各有料施設の利用状況 3. 利用者からの意見・苦情等 4. 公園利用促進事業実績 5. 管理運営上の問題点、改善提案
<協議会メンバー> 札幌市手稲区土木部公園緑化係 (株)スペースデザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園、(公財)札幌市公園緑化協会	

運営協議会では、管理運営の報告と施設等の修繕や改善について報告と提案を行った。

協議内容を参考にして、業務の向上に努めていただきたい。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

適切に管理されている。

不正経理等はなく問題はない。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情の発生の都度スタッフに情報共有したうえで記録するとともに、他公園の要望・苦情も情報収集して回覧・情報共有することにより、同様の事例が発生しないよう努めている。

【苦情・要望等の件数】

前田森林公園 苦情・要望:23件
山口緑地 苦情・要望:3件
星置公園 苦情・要望:8件
明日風公園 苦情・要望:7件

利用に関する苦情等については、看板の設置など措置対応を要するものは、可能な限り迅速に対応するとともに、申出者に対しては丁寧な説明・対応に努めた。

適切に対応できている。

	▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ▼ 主な記録は以下のとおり 巡視日報、EMS環境測定記録、EMS教育訓練記録、受水槽点検記録、作業機械点検簿、車両運転記録簿、遊具点検記録簿、防火点検記録簿、苦情等情報シート、収入日報、月報、四半期報告書、年報、現金出納帳他 ▼ 展望ラウンジ・休憩舎・管理事務所横休憩スペースにアンケートボックスを設置してアンケート調査を実施した。	記録については適正に管理・保存・届出を行った。アンケート結果はスタッフ間で情報共有し、利用者ニーズの把握と管理運営の参考とした。 札幌市の業務・財務検査には適切に対応した。	適切に管理されている。
--	--	--	--------------------

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,075円(令和7年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	関係法令を遵守し適切に実施されている。

	・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から1名が正規職員となった。 ▼ 当管理公園での労災事故は、前田森林公園0件										
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) 【利用者への安全確保】 ▼ 利用者への安全対策として、作業時にセーフティコーンや作業看板を設置して作業を行うとともに、園内の利用状況に応じて作業日時を調整し危険な場所に利用者が入らないよう配慮して作業を実施した。 ▼ 園内作業時、利用者が立ち去るまで作業機械を停止し事故防止に努め、車両はハザード灯を点灯し、速度20km/h以下で走行した。 ▼ 強風に関し警報が発表された際はバリケードで園路を一部通行止めにし、利用者の安全を図った。 ▼ AEDを配置し、対象者に普通応急手当講習を受講した。 ▼ パークゴルフ場での事故防止のため、ネットの増設、注意喚起の園内放送を行った。 ▼ カラスの子育て時期には注意看板を設置、スズメバチは安全を確保した上で適宜直営で駆除したが、高所と樹木内営巣のものは委託業者への発注対応とした。	利用者の安全対策は計画書どおりの実施を行ったが、雪解け後の遊具鉄部分がささくれ立ち、利用者が怪我をする事故が1件あった。 利用者の転倒等の事故、体調不良による救急搬送等数件あったが、迅速に対応することができた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">施設・設備等を適切に維持管理している。</td></tr></table>	A	B	C	D	施設・設備等を適切に維持管理している。			
A	B	C	D								
施設・設備等を適切に維持管理している。											

【市民サービス向上への配慮】

▼ 受付窓口やアンケートでの苦情・要望等には可能な限り迅速に対処した。

▼ 拾得物取扱マニュアルを作成し、拾得物及び遺失物の情報を管理事務所で共有し、遺失者・遺失物の早期発見に努めた。

▼ 電話や受付窓口にて迅速な情報提供を丁寧に行うなどとともに、公式ホームページや公式X(旧Twitter)などを利用した告知、園内掲示板への情報掲示などの情報提供を行った。

▼ 冬期は前田森林公園南側拡張区域駐車場で土日祝日開放のための除雪を実施し、ながめの丘(ソリ山)利用者への利便確保を図った。

【連絡体制の確保、保険加入】

▼ 自然災害や事故等発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。

▼ 保険については計画書どおり、施設賠償責任保険、レクリエーション保険、家財保険、任意自動車保険、食品営業賠償保険に加入した。

市民サービス向上のため、受付窓口やアンケートでの苦情・要望に可能な限り迅速に対応し、円滑な公園管理運営と利用者サービスの向上を図ることができた。

連絡体制の確保、保険加入(施設賠償保険等)は、計画どおり行った。

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼ 有料施設(野球場・球技場・テニスコート・パークゴルフ場)は、仕様書通り4月20日に開放し、11月20日までの開放だったが、降雪の影響によりパークゴルフ場は11月18日で終了した。

▼ 清掃作業については仕様書に基づき実施した。

▼ カナールは春夏秋の年2回(市民協働)の清掃を行い、仕様書どおり管理を行った。

▼ 無料施設等は、以下のとおり施設開放を行った。

●前田森林公園:バーベキュー広場を4月29日から11月3日まで開放した。展望ラウンジ2階の食堂売店は4月19日から、クラブハウス食堂売店は4月29日から営業開始し、いずれも11月3日まで営業した。

●山口緑地:管理棟は仕様書通り4月20日から11月18日まで開放した。

●明日風公園:徒渉池は仕様書どおり7月1日から9月1日まで、無料パークゴルフ場は4月29日から開放し、11月3日で開放を終了した。

▼ 遊具や設備保守点検を仕様書どおり実施した。

▼ 施設・備品の故障・破損に対しては、内容に応じて直営・専門業者による修繕を実施し、施設利用に支障が出ないように維持管理に努めた。

▼ 芝生広場等の草刈は遠足やピクニック等の団体利用に配慮した作業を行ったほか、野鳥の営巣地の草刈について作業エリアや回数・時期を調整して生物多様性に配慮した管理に努めた。

▼ パークゴルフ場の芝生管理は、灌水を整備日及び閉場後、利用者の利便に最大限配慮し支障がないよう行ったほか、緩効性肥料と刈草による窒素循環を組み合わせた芝生管理により、効率化・環境配慮型の維持管理を図った。

▼ 樹木管理については高所作業車を使用し、高木の枯損枝・危険枝処理を行ったほか、枯損木や危険木を適宜処理し利用者の安全に主眼を置いた管理を行った。

▼ 札幌市貸与備品に関しては、随時台帳を整理した上で年1回の確認を行った。

公園施設開放については、仕様書及び維持管理計画どおりに開放できた。

施設修繕は、可能なものは直営で行って修繕困難な場合のみ専門業者に委託し、管理コストの削減を図った。

緑地管理は、草刈はエリア毎の利用目的や状況に合わせた管理を行い、樹林地等の草刈や野生生物や生態系に配慮した順応的管理に取り組んだ。

樹木管理は、枯損木や危険木を適宜処理し利用者の安全に主眼を置いた管理を行った。

適切な維持管理が行われている。

	▽ 防災 ▼ 今年度の防災計画を策定し手稲消防署に届け出るとともに、5月と11月に消防訓練を実施した。 ▼ 消防設備点検を専門業者に委託し年2回実施し、点検結果は手稲消防署に提出した。 ▼ AEDを配備するとともに、防災関連必要備品の常備、期限切れ等を確認し必要に応じて交換した。 ▼ 自然災害や事故等の発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。	防災訓練及び消防設備点検を計画通り実施した。	適切に取り組んでいる。												
(4)事業の計画・実施業務	▽ 近隣教育機関に関する学習機会の提供業務 ①前田森林公園 ▼ 北海道札幌高等養護学校 ・ 1年生の職場研修受け入れ(6名) 職場体験学習(園内緑地管理作業実習)の受け入れを下記日程で各回3名ずつ実施した。 9月8日(月)～11日(木) 10:00～14:00 10月6日(月)～9日(木) 10:00～14:00 ・ 授業で制作した製品(陶器・木工品・縫製品等)販売に協力し、販路の一つとして当該公園売店を提供した。作品は買い取り制で、生徒は授業の一環として検品・納品・事務所との金銭授受、製品の売れ行きを確認した。 ▼ 前田北中学校／稲穂高等支援学校 2月の両校の体育の時間に、公園の歩くスキーコースと貸出用スキーを利用した学習の受入を行い、前田北中学校が延べ4日間、稲穂高等支援学校が延べ2日間の利用があった。 ▽ 公園施設利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務 ①前田森林公園 ▼ 前田森林公園凸凹クラブ ・ トンカチ広場のための活動場所や資材提供等 ・ 自然観察会等の活動広報・チラシ作成等の支援 ▼ 手稲区パークゴルフ協会 ・ パークゴルフ場で協会会員の交流大会に協賛 ②明日風公園 ▼ 明日風フィオーレ ・ 花壇管理ボランティアへの資材提供	今年度も複数の教育機関と連携し必要な支援を行うとともに、公園の教育的利用に寄与することができた。 公園を利用した市民活動に対し、資材の提供や活動場所の提供、協賛金の支出などの支援を行った。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">教育機関との連携、支援が行われていた。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">市民団体等と連携、支援が行われた。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	教育機関との連携、支援が行われていた。				市民団体等と連携、支援が行われた。			
A	B	C	D												
教育機関との連携、支援が行われていた。															
市民団体等と連携、支援が行われた。															

▽ 公園利用に関しての相談業務

- ▼ カナールとポプラ並木の特徴的な景観から、個人やメディアによる写真や撮影のロケーションに利用されることが非常に多いため、利用目的を確認した上で撮影日時や車両進入の確認・調整などを行い、札幌市への報告等を適時行った。
- ▼ 持込イベントの場合、申込時に園内の危険箇所や想定される事態の説明をし、安全対策がとれるようアドバイスを行った。
- ▼ 冬期は近隣教育機関が園内のクロスカントリースキーコースを利用しスキー学習を行うため、公園利用届による日程確認やレンタルスキーの相談に対応した。

各種メディア対応に問題はなかった。個人利用も利用前説明を徹底しトラブルなく対応できた。

適切に対応されている。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6実績	R7計画	R7実績
① 前田森林公園 野球場	件数(件)	287	-	246
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	19.5	-	17.3
① 前田森林公園 球技場	件数(件)	93	-	92
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	12.8	-	12.3
① 前田森林公園 パークゴルフ場	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	23,719	-	23,383
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パークゴルフ場 西コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	12,120	-	11,159
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パークゴルフ場 東コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	22,843	-	16,880
	稼働率(%)	-	-	-
③ 星置公園 野球場	件数(件)	133	-	127
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	12.9	-	13.2
③ 星置公園 庭球場	件数(件)	192	-	142
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	6.6	-	5.4
④ 明日風公園 庭球場	件数(件)	503	-	509
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	20.7	-	20.5

※稼働率は小数点第2位四捨五入

野球場・球技場・テニスコート・パークゴルフ場は、仕様書通り4月20日から開放し11月20日までの開放だったが、パークゴルフ場は降雪の影響により11月18日までの営業となった。
開放期間中も土日祝の降雨、夏場の猛暑等の影響により、特に高齢者の多いパークゴルフ場の利用減少が目立ち、利用料金収入は大幅な減収となった。

A	B	C	D
天候により利用件数が伸びなかったことは、仕方ないものと考え。今後、パークゴルフの利用促進を考えていただきたい。			

▽ 不承認 0件、取消し0 件、減免3,422件、還付32件 ▼ 前田森林公園野球場 減免13件、還付2件 ▼ 前田森林公園球技場 減免0件、還付3件 ▼ 前田森林公園パークゴルフ場 減免1,552件 ▼ 山口緑地西パークゴルフ場 減免735件 ▼ 山口緑地東パークゴルフ場 減免1,120件 ▼ 星置公園野球場 減免1件、還付7件 ▼ 星置公園テニスコート 減免1件、還付9件 ▼ 明日風公園テニスコート 減免0件、還付11件 ▽ 利用促進の取組 公園利用促進のために以下の取り組みを行った。 ▼ 前田森林公園 ・ウォーク・ラン・ラリーカードの配布 ・ウォーキング用キロ数記載のポール設置 ・カナール清掃時市民ボランティアの募集 ・ウォーキングコースと冬期スキーコースのキロ数記載の園内マップを作成配布・掲示 ・園内散策用自然情報の大型パネル作成・掲示 ・クロスカントリースキーコース等の設営 ・スキーセット(通常・上位モデルの2種)貸出 ・クロスカントリースキー講習会開催(初心者) ・スノーラフティングの実施 ▼ 各野球場・球技場・テニスコート ・スポーツの日利用料金無料 ・野球場のベースレンタル(無料) ・野球場・球技場のラインカーレンタル(無料) ▼ 各パークゴルフ場 ・札幌市都市公園条例の使用料以外に自主事業により独自の料金(一日券、半日券)を設定 ・半日券団体割引の導入 ・子どもの日(5月5日)は中学生以下無料 ・スポーツの日は利用料金を無料 ・ファミリーパックの設定(保護者1名につき子ども1名無料) ・スタンプカードによる利用者還元と、札幌市に協議の上、押印ポイントを増加 ・クラブセット貸出(子どもは無料) ▼ ボランティア団体との共催イベント ・「ふじまつり」の開催 ・木工体験「トンカチ広場」の開催 ・公園内の動植物の自然観察会の開催	公園利用促進の取り組みは、パークゴルフ場におけるサービス券種の設定等を中心に、幅広い対象と夏期・冬期を問わず、多種多様な取り組みを実施して利便性の向上とニーズ対応を図り、リピーター確保に努めた。	適切に対応されている。 様々な利用促進の取り組みがされている。
---	--	---

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ 公園・緑地の公式ウェブサイトやSNSを活用し、四季で移り変わる景観やサクラやフジ等の開花状況などのタイムリーな公園情報を発信し、当公園の豊かな自然環境と公園の魅力をPRし、新規の公園利用者誘致、リピーターの再訪を促した。 ・公式ホームページ アクセス数は235,416件となり、前年度比91.2%の閲覧数となった。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに可能な限りすみやかに対応した。 ・公園公式X(旧Twitter) ツールの特性を生かし、園内の花の開花状況等やボランティア活動やイベント状況を発信し、公園への理解を深めていただくよう努めた。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和8年3月31日に公開した。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。	ホームページへの情報掲載のほか、リアルタイムで情報発信ができるツールとしてSNSを活用した。	A B C D 積極的に広報活動を行っている。
2 自主事業その他			
▽ 自主事業 ①前田森林公園 ▼ 展望ラウンジ レストラン(委託) 収入133千円 ▼ パークゴルフ場 レストラン(委託)収入83千円 ▼ 自動販売機(委託) 収入1,812千円 ▼ 売店事業(管理事務所) 収入271千円 ▼ 売店事業(臨時) 収入118千円 ▼ コインロッカー 収入20千円 ▼ 売店事業(バーベキュー) 収入1,023千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入267千円、利用者1338人 ▼ 歩くスキー簡単初心者講習会 収入16千円、参加者16人 ▼ 歩くスキー貸出 収入434千円、利用者989人 ▼ スノーラフティングボート 収入168千円、利用者337人 ②山口緑地西コース ▼ 自動販売機(委託) 収入120千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入14千円、利用者70人 ③山口緑地東コース ▼ 自動販売機(委託) 収入100千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入81千円、利用者407人 ④明日風公園 ▼ 自動販売機(委託) 収入320千円	自主事業は、「ふじまつり」や「パークゴルフ交流大会」等のイベントを実施したほか、バーベキュー関連商品販売、用具レンタル等を実施したが、土日祝の降雨、夏場の猛暑等の影響により、バーベキュー広場の売上は伸び悩み昨年度より減収となった。また、改修工事により、展望ラウンジレストランを6月末で閉鎖、冬期間の事業開始を例年より1カ月遅らせたことにより、大幅な減収となった。	A B C D 改修工事の影響等で減収となったものは、仕方のないことと考える。	

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ 第三者への委託業務は、市内企業に発注した。 ▼ 物品調達の際は、市内企業から購入した。 ▼ 北海道札幌高等養護学校からの実習生を受け入れた。 ▼ 高齢者福祉施設の公園利用の際に、展望ラウンジ裏駐車場を開放した。また、体の不自由な方への車いすを貸出を行った。		可能な限り積極的に市内企業の活用と福祉施策への配慮に取り組んだ。	適切な取り組みが行われている。												
3 利用者の満足度															
▽ 利用者アンケートの結果 <table><tr><td>実施方法</td><td>・アンケートボックスの設置</td></tr><tr><td>結果概要</td><td> 上記アンケートの集計結果(回答者70人) ▼ 公園の総合満足度:78.6% (札幌市の要求水準70%・当該公園の目標75%を達成するとともに前年度を上回った。) ▼ スタッフの接遇に関する満足度:88.1% (札幌市の要求水準80%・当該公園の目標85%を達成することが出来た。) ▼ 回答者属性 8割が札幌市内在住で、男女比は男性が6割女性が4割だった。65歳以上が57.1%と最も多かった。 ▼ 公園利用頻度 「週1回以上」が最も多く25.7%で、次に「月1〜2回程度」が24.3%となり、リピーターの意見が多い結果となった。 ▼ 情報を得る手段 「知人・友人から聞いて」が27.1%次いで「その他」が20.0%となり、利用者からの口コミで来園される方が多かった。 </td></tr></table>		実施方法	・アンケートボックスの設置	結果概要	上記アンケートの集計結果(回答者70人) ▼ 公園の総合満足度:78.6% (札幌市の要求水準70%・当該公園の目標75%を達成するとともに前年度を上回った。) ▼ スタッフの接遇に関する満足度:88.1% (札幌市の要求水準80%・当該公園の目標85%を達成することが出来た。) ▼ 回答者属性 8割が札幌市内在住で、男女比は男性が6割女性が4割だった。65歳以上が57.1%と最も多かった。 ▼ 公園利用頻度 「週1回以上」が最も多く25.7%で、次に「月1〜2回程度」が24.3%となり、リピーターの意見が多い結果となった。 ▼ 情報を得る手段 「知人・友人から聞いて」が27.1%次いで「その他」が20.0%となり、利用者からの口コミで来園される方が多かった。	今年度は公園の総合満足度、スタッフの接遇満足度共に札幌市の要求水準を上回り目標値も達成した。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">要求水準は上回っている。今後も真摯に対応していきたい。</td></tr></table>	A	B	C	D	要求水準は上回っている。今後も真摯に対応していきたい。			
実施方法	・アンケートボックスの設置														
結果概要	上記アンケートの集計結果(回答者70人) ▼ 公園の総合満足度:78.6% (札幌市の要求水準70%・当該公園の目標75%を達成するとともに前年度を上回った。) ▼ スタッフの接遇に関する満足度:88.1% (札幌市の要求水準80%・当該公園の目標85%を達成することが出来た。) ▼ 回答者属性 8割が札幌市内在住で、男女比は男性が6割女性が4割だった。65歳以上が57.1%と最も多かった。 ▼ 公園利用頻度 「週1回以上」が最も多く25.7%で、次に「月1〜2回程度」が24.3%となり、リピーターの意見が多い結果となった。 ▼ 情報を得る手段 「知人・友人から聞いて」が27.1%次いで「その他」が20.0%となり、利用者からの口コミで来園される方が多かった。														
A	B	C	D												
要求水準は上回っている。今後も真摯に対応していきたい。															

利用者からの意見・要望とその対応	【称賛】 <公園について> ・綺麗に整備されていて気持ちがいい。	アンケート内では特段意見・要望はなかった。	
------------------	---	-----------------------	--

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R7年度計画	R7年度決算	差 (決算-計画)	施設改修の影響により、自主事業の減少があったことは仕方のないものと考ええる。			
収入	130,164	128,959	▲ 1,205				
指定管理業務収入	123,926	123,395	▲ 531				
指定管理費	97,326	103,243	5,917				
利用料金	26,600	20,145	▲ 6,455				
その他	0	7	7				
自主事業収入	6,238	5,564	▲ 674				
支出	129,480	137,388	7,908				
指定管理業務支出	128,272	132,612	4,340				
自主事業支出	1,208	4,776	3,568				
収入-支出	684	▲ 8,429	▲ 9,113				
利益還元	0	0	0				
法人税等	684	211	▲ 473				
純利益	0	▲ 8,640	▲ 8,640				

利用料金収入については、パークゴルフ競技人口の減少傾向から大幅な減収となった。
自主事業収入は「ふじまつり」や「パークゴルフ交流大会」等のイベント、バーベキュー広場等での関連商品販売等を実施したが、目標値に届かなかった。
引き続き経費削減と効率的な管理により収支の改善を図っていく。

▽ 説明 ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書」及び、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金等)」により5,917千円の増となった。 ▼ 利用料金収入は、パークゴルフ競技人口減少により、計画より6,455千円の減となった。 ▼ 自主事業収入は、各種イベントや売店商品を工夫したがパークゴルフクラブの貸出など競技人口減少により、計画より674千円の減となった。 ▼ 指定管理業務支出は、人件費、光熱水費の上昇等により、4,340千円の増となった。 ▼ 自主事業支出は、計画より3,568千円の増となった。 ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。			
＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和7年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。			適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。			適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
前田森林公園・山口緑地・星置公園・明日風公園の管理運営に関しては、例年通りの公園施設開放とイベント実施を行い、公園管理に起因する事故や大きなトラブルもなく安全に管理運営をすることができた。 有料運動施設管理については、野球場やテニスコート整備、パークゴルフ場の芝生補修や目土・灌水・エアレーション等のメンテナンス作業を行い、コンディションの維持・向上に努めた。 自主事業収入は、「ふじまつり」や「パークゴルフ交流大会」等のイベントを実施したほか、バーベキュー広場等の施設開放に伴うパークゴルフ場売店でのバーベキュー関連商品販売等を実施したが、土日祝の降雨、夏場の猛暑等の影響により、特に飲食を伴うレストランやバーベキュー広場の売上は伸び悩んだ。冬期の公園利用促進のために力を入れているクロスカントリースキーのコース整備や用具の貸出、ラフティングボートの運行は好評であった。 市民協働については、前田森林公園凸凹クラブ、前田森林公園クリーンボランティア、明日風フィオーレなどのボランティア団体との協働、団体への活動支援を継続することができた 緑地管理では、野鳥の森を中心に草刈方法や草刈頻度、作業区域の見直し等を行い、自然環境の保全と管理との調和を図り、昆虫や野鳥等の生物多様性に配慮した環境づくりを進めた。 樹木管理では、今年度もテッポウムシの被害の目立つシラカバやネグンドカエデ、ニレノキクイムシの被害が目立つハルニレ、胴枯れ病による立ち枯れが顕著なナナカマドを中心とした危険木・枯損木の整理のほか、高所作業車を利用して改修工事に伴う重量物搬入経路の高木の剪定や枯損木の処理を、星置公園は小学校側の園路を被圧していたカエデ類の高木の剪定作業を実施し、倒木被害を軽減するための措置や園路灯の照度を確保する措置を実施し、来園者の通行の多い主園路を中心に、安全安心な公園づくりを行った。	利用者の安心・安全を重視した公園管理に努め、無事故を目標に安全管理の向上を図りたい。 開放期間中も土日祝の降雨、夏場の猛暑等の影響により、特に高齢者の多いパークゴルフ場の利用減少に歯止めがかからず、利用料金収入は大幅な減収となったが、今後もパークゴルフ場芝生のコンディション維持に努めたい。 相次ぐ物価高で継続に支障の出ている自主事業の実施内容の見直し・検討に取り組み、事業の再構築を図りたい。 ボランティア活動への参加者の掘り起こしや、支援方法の見直し、活動の幅を広げる等、市民協働のレベルアップを図れるよう努めたい。 管理作業における労災事故を未然に防ぐため、作業時の危険への注意喚起と安全作業への意識の高揚のための研修や作業機械の安全取扱講習等をレベルアップして実施したい。 特に法令改正により義務づけられた熱中症対策には特段の注意を払って対応していきたい。 芝生広場等のレクリエーション用途の一定の維持管理作業を要する草地と、昆虫や野鳥等の野生生物の多様性に配慮した樹林地の草地管理等、適正な草刈方法や作業区域の見直しを適宜行い、良好な緑地維持管理に努めたい。 多種多様な樹林帯の枯損木整理や、高所作業車を利用した枯枝除去や剪定作業、冬期剪定作業等の樹林管理を継続し、利用者に安全な公園緑地環境と景観の維持に努めたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
今後も利用者サービスの更なる向上、適切な維持管理に期待します。	上記に記載した所管局評価を参照してください。